他分野から参入続々! **まつげが伸びる、ダイヤモンドで肌を磨く、発酵で効果倍増**

最旬3大美容は新ジャンル!

美を極めるには〝いいものなら何でも取り入れましょう〟精神、大賛成! 今や画期的な新美容は別ジャンルから生まれます。

最近、美容で目立つのは、別の分野から〝目からウロコ〟の発想で、効き目抜群のコスメが登場すること。そのなかから3つの旬の美容を紹介!

緑内障の点眼薬からまつげの増毛剤

「地まつげのほうがエクステより長くなった!(50代・主婦)」「2週間ぐらいでまつげが濃くなり、伸びてきたのを実感(40代・主婦)」と、現在話題沸騰中の、まつげ育毛剤『ラティース』。芸能人で使っている人多数。**山本モナ**さん(34)も3月26日のブログで使い始めたと書いていました。

これは**世界で初めてFDA**(米国食品医薬品局)**が認可した、れっきとした〝まつげ貧毛症治療薬〟**。

そもそもは緑内障治療の点眼薬から生まれたという、この薬。それがなぜ、まつげを増毛させるのでしょう?

「それは、**主成分のビマトプロストという成分**によるものです。眼圧を下げる働きがあるので緑内障治療に使われていますが、毛周期に働きかけ、まつげが増える副作用もあるのです。これに着目し、まつげ育毛用に改良を加えて生まれたのがラティースなんですね」(あおいクリニック銀座中野あおい院長)

目頭から目尻にかけて一気に塗るのがコツ。色素沈着を避けるため、周辺についた余分な薬剤は拭きとること

コンタクトレンズは塗布後15分間は装用禁止。ド近眼の記者は、手元がぶるぶる震えます

ラティースは1本で1カ月分。使い捨てのアプリケーターが両目×30日分入っているので衛生的

副作用を逆手にとって生まれた新兵器。さっそく体験してみると、アイラインを引く要領で上まつげの生え際に塗布するだけと、とっても簡単。とはいえそこは医薬品。医師の指導のもと、正しく使うことが大切です。

「まつげを黒々と見せるメラニン沈着作用があるのですが、つけすぎると皮膚に色素沈着してしまいます。使用量は必ず守ることと、下まつげに塗るのは絶対やめてください。目の下が黒ずんで、落ちなくなります。16週間でまつげが18%濃く、25%長く、106%太くなるというデータもあるので、あせらなくて大丈夫!」

同じくまつげ業界で流行中のエクステは、グルー(接着剤)が目に入るなどの事故が近ごろ多く報告されています。地まつげが伸びれば、その心配ともさようなら。医学が認めるこの最旬兵器、要チェックです!

4週間後

製造元の米・アラガン社発表の症例写真。上が開始当時、下がその後で1セット。全体的に長さと密度が増えています

12週間後

こちらは12週目。確かにエクステかと思われるほどバサバサに。これならスッピンも怖くない!

BEFORE

いっぽう、スッピンを恐れる記者の、開始当時の貧しいまつげ。目頭、目尻に関しては毛の影もなかった

AFTER

2週間後。酒に溺れて何度か塗布をサボったせいか、劇的変化は見受けられませんが、下まつげが弧を描くように!

撮影/永田理恵(人物)、広瀬壮太郎(静物)